

平成 29 年度 野田市文化会館、野田市野田公民館及び野田市
中央コミュニティ会館指定管理者管理運営状況調書

担当課 社会教育課

| 評価基準 | 評価項目 | 指定管理者 自己評価 | 担当課評価 | 特記事項 |
|---|--------------------|---------------|-------|------|
| 利用者の平等利用が確保されること | ①平等利用確保への取組 | B | B | |
| 施設の効用（設置目的）が最大限発揮されるものであること | ①サービス改善への取組 | B | B | |
| 個人情報の適切な保護が図られていること | ①個人情報保護への取組 | B | B | |
| 緊急時の危機管理体制が確立されているか | ①緊急時の危機管理への取組 | B | B | |
| | ②要望、苦情への取組 | B | B | |
| 現金の取扱い等の経理処理が適切に行われていること | ①現金の取扱い | B | B | |
| 管理経費の縮減が図られるものであること | ①指定管理に係る収支見込について | B | B | |
| | ②経費縮減のための取組 | B | B | |
| 地元住民の雇用、物品及び役務の調達に際しての地元業者への配慮 | ①地元住民の雇用及び地元業者への配慮 | B | B | |
| 事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること | ①人員配置について | B | B | |
| | ②社員の指揮監督・管理体制について | B | B | |
| | ③人材育成の取組状況 | B | B | |
| <p>総合所見</p> <p>管理面では、文化会館の指定管理が2年目となり、円滑な施設管理が図られるようになった。野田公民館及び中央コミュニティ会館の施設管理については指定管理が7年目ということもあり、特に問題なく施設管理業務が行われているものと考えられる。両施設をあわせても管理面では指定管理業務仕様書の要求水準を満たしているものとするが、今後も文化会館との施設管理面での連携を密にして、より効率的でかつ高水準の施設管理を目指してもらいたい。</p> <p>舞台業務については、催事により舞台技術者の増員が図られ、舞台業務を円滑に運営している。また、舞台技術者の大ホールと小ホール間での応援体制も取られており、施設利用者へのサービス向上及び経費の縮減が図られている。</p> <p>事業面では、文化会館委託文化事業については、鑑賞型事業が4事業、普及型事業4事業、参加型事業2事業を実施する見込みであり、鑑賞型、普及型、参加型の各2事業以上合計8事業を実施する要求水準を満たすことは間違いない。実施した事業の中で、8月に開催したダンス公演では、</p> | | | | |

なかなか動員することの難しい若い人を千人近く動員できたことは評価できる。事業収支については、委託文化事業 10 事業中 6 事業が 1 月以降の事業となっているため、今後の努力に掛かってくるところであるが、収入が支出を上回るのは、僅かの見込みとなっている。今後も引き続き収支バランスを保ちつつ、良質な公演の提供、若い人の動員、地元アーティストの支援に力を入れてもらいたい。

また、野田公民館関係の事業については、今年度は主催事業 41 事業、自主事業 18 事業を計画し、実施して行く中で計画の変更や追加事業もあったことから、主催事業 45 事業、自主事業 19 事業を実施する見込みとなっており、概ね順調な事業運営がなされている。中でもリフレッシュルームのインストラクターの配置について、従来水曜日と土曜日であったものを、4 月から月曜日も追加した。インストラクターは、ストレッチタイム及びフロアエクササイズを実施するなど、利用者から好評を得ていることから利用者数を伸ばしている。今後も、インストラクターの指導内容の工夫をしながら、引き続き利用者数を増やしてもらいたい。

次に収支状況については、指定管理料、施設利用料等の収入見込みが 256,430,932 円であるのに対し、文化会館、野田公民館、中央コミュニティ会館、櫛のホール全体の支出が 254,660,470 円と見込んでおり、収入が支出を 1,770,462 円上回るが、ほぼ妥当な数字となっている。

全体的には平成 28 年度から 32 年度の指定管理者応募時の事業計画書に沿って管理運営がなされており、文化会館については指定管理が 3 年目、野田公民館及び中央コミュニティ会館では 8 年目となることから、今後、管理運営面や事業面で文化会館との連携を密にし、さらなるサービス向上に努めてもらいたい。